

科目名称:	造形表現指導法実習Ⅱ	
担当者名:	森田 ゆかり、坂井 亜也子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・親子などの活動を支援するため、年齢や実態に即した活動内容・環境・対応などを考え、実践する。 個々の「表現」や「思い」を捉え、記録し、見える形にする面白さと意味を理解する。 造形活動を通して人と関わる面白さ、協働する喜びなどを知る。 「3つのD」のサイクルの中で学び、環境構成、コミュニケーション、支援の力を身につける。 		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> 多様な考えや価値観を尊重し、造形活動を通して他者との信頼関係を築いていくことができる。 表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して柔軟に考えられる。 造形を通して「保育」の見方・考え方が広がり、造形活動（表現活動）の意義を理解できる。 		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》森田 アートディレクター（子ども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ドキュメンテーション	対象者の姿・気持ちを読み取り他者に伝わるように記録することができる。	対象者の姿・気持ちを読み取り記録することができる。	対象者の姿（表情・行動・言葉）を捉え記録することができる。	対象者の姿（表情・行動・言葉）を捉え記録することができない。
ディスコース（グループワーク・プレゼンテーション）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。
デザイン	対象者・場・ねらいに即して、様々な素材・用具・技法を期待以上に応用し考えられる。	対象者・場・ねらいに即して、様々な素材・用具・技法を応用し考えられる。	対象者・場・ねらいに即して、様々な素材・用具・技法を考えられる。	対象者・場・ねらいに即して考えられない。活動にあまり参加していない。
実践のまとめ	研究の成果を他者に伝え他者を納得させることができる。	研究の成果を論理立てて他者に伝えることができる。	研究の成果を分かりやすく他者に伝えることができる。	研究の成果が他者に伝わりにくい。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 インターンシップの計画・準備（プロジェクト活動）（電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーの、プロジェクト活動に目を通しておく。	30分
第2回 インターンシップ・実践（プロジェクト活動）	第1回授業での計画・準備を復習・確認。	15分
第3回 インターンシップ・実践（プロジェクト活動）	第1回授業での計画・準備を復習・確認。	15分
第4回 インターンシップの振り返り・ディスコース（プロジェクト活動）（電子黒板使用）	各自ドキュメンテーションを仕上げておく。	30分
第5回 インターンシップのまとめ・ディスコース（プロジェクト活動）（電子黒板使用）	インターンシップでのドキュメンテーション、資料などを整理。	20分
第6回 「第6回石川幼年美術の会・実践研究会」の「絵を読む会」への参加準備（電子黒板使用）	「絵を読む会」に持参する子どもの絵、ドキュメンテーションの整理。	15分
第7回 「第6回 石川幼年美術の会 実践研究会」参加	事前に配布された資料を読んでおく。	15分
第8回 「第6回 石川幼年美術の会 実践研究会」参加	事前に配布された資料を読んでおく。	15分
第9回 「第6回 石川幼年美術の会 実践研究会」参加（ディスコース）	事前に配布された資料を読んでおく。	15分
第10回 「第6回 石川幼年美術の会 実践研究会」参加（ディスコース）	事前に配布された資料を読んでおく。	15分
第11回 インターンシップの計画・準備（プロジェクト活動）	第5回授業でのまとめを復習。	15分
第12回 インターンシップ・実践（プロジェクト活動）	第11回授業での計画・準備を復習・確認。	15分
第13回 インターンシップ・実践（プロジェクト活動）	第11回授業での計画・準備を復習・確認。	15分
第14回 インターンシップの振り返り・ディスコース（プロジェクト活動）（電子黒板使用）	各自ドキュメンテーションを仕上げておく。	30分
第15回 インターンシップのまとめ・ディスコース（プロジェクト活動）（電子黒板使用）	インターンシップでのドキュメンテーション、資料などを整理。	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学習としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

事前学修課題およびワークシート20%（毎回配付されるワークシートなどを授業内で各自作成し提出）、ドキュメンテーション50%、グループワーク・グループで見える形にしたもの・プレゼンテーション30%、

課題に対してのフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに→グループで「ディスコース」（必要に応じてさらに全体で「ディスコース」）→次の活動を「デザイン」することにより、学びのサイクルが生まれる授業を試みている（レジジョ・エミリアの「3つのD」 KINJO特化造形表現モデル）。また、提出されるワークシートなどに担当者が目を通し、担当者も次回の授業をデザインしている。

教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第33号～第36号』 公益財団法人美育文化協会、『子どもが絵を描くとき』 磯部錦司著 一藝社
教科書は適宜授業で使用する。
参考書：『実践のまとめ』バックナンバー、必要に応じてプリント配付